

平成22年第6回沖縄県議会（定例会）

知事就任あいさつ

平成22年12月10日

沖 縄 県

本日、平成22年第6回沖縄県議会の開会にあたり、2期目の県政運営に臨む私の基本的な考え方を申し述べ、議員各位、並びに県民の皆様の一層の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

私は、平成18年12月の知事就任以来、「世界に誇れる美ら島おきなわ」の実現に向け、経済の活性化、雇用の拡大、安心して暮らし、子どもを生き育て、働ける社会づくり、そして、過重な基地の負担軽減などに全力で取り組んでまいりました。

この度の再任にあたり、県民の皆様から厚い信任を頂いたことに対し、深く感謝申し上げますとともに、公約の実現に向け、しっかりと県政運営に取り組んでまいります。

今後の県政運営にあたりましては、沖縄の優位性を活かした活力あるアジア経済との連携、自然環境の保全と循環型社会への転換を通して、環境と経済がともに発展する仕組みづくり、魅力あるソフトパワーを活用した自立型経済の構築などに取組みたいと考えております。

また、豊かで暮らしに不安のない沖縄の実現には、雇用の拡大に向けた産業振興、文化・芸能・スポーツ等の振興、医療・介護・福祉の拡充と子育て支援、離島のユニバーサルサービスの徹底、そして、様々な分野で活躍できる人材の育成等が重要であると考えております。

昨年度は、県民の皆様に参加頂き、沖縄のあるべき将来像を示す基本構想である「沖縄21世紀ビジョン」を策定いたしました。

私は、本ビジョンの実現に向け、4年間で築いた実績をさらに深化・発展させ、次の世代へ繋げていくために、

「希望と活力にあふれる『豊かな美ら島・おきなわ』づくり」

「つながり支えあう『住みよい美ら島・おきなわ』づくり」

「世界に開かれた『交流と共生の島・おきなわ』づくり」

の3項目を2期目の政策目標に掲げ、県民の皆様と歩みを共にして、目標の実現に向け全力を傾注してまいります。

基地問題につきましては、戦後65年を経た現在もなお、過重な基地負担を担い続けており、米軍基地の運用に伴う事件・事故の防止や、日米地位協定の抜本的な見直し、嘉手納飛行場等における実効性のある航空機騒音対策など、基地から派生する諸問題の解決促進を、日米両政府に対し、引き続き強く求めてまいります。

普天間飛行場の移設問題につきましては、去る5月の日米共同発表において、普天間飛行場代替施設をキャンプ・シュワブ辺野古崎地区及びこれに隣接する水域に設置するとしたことに遺憾の意を表明し、当該移設案を受け入れることは極めて厳しいと、繰り返し申し上げてきました。

地元の理解が得られない移設案を実現することは極めて困難であると考えており、政府に対し、日米共同発表を見直し、普天間飛行場の県外移設に取り組むよう強く求めてまいります。

また、移設するまでの間であれ、その危険性を放置することはできないことから、早期に危険性の除去及び騒音の軽減に取り組むようさらに強く求めてまいります。

一方、海兵隊要員のグアムへの移転及び嘉手納より南の施設・区域の返還、訓練水域や射爆撃場の返還等については、日米両政府において確実に実施がなされるよう要望してまいります。

基地の跡地利用については、円滑かつ適切に推進していくため、駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)の制定について、国に求めてまいります。

今後の沖縄振興の推進につきましては、沖縄振興計画の期間も残すところ1年余となり、平成23年度は、沖縄21世紀ビジョンに示されるような、県民が夢と誇りがもてる社会の形成に向け、本格的に議論・検討すべき重要な年度となっております。

このため、沖縄21世紀ビジョンを実現するための、新たな沖縄振興の手だてとなる基本計画の策定を進め、今後の振興の道筋を示したいと考えております。

また、再開された沖縄政策協議会の場を活用し、県の基本計画に対する国の支援や、沖縄振興特別措置法に代わる新たな法律及び駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)の制定、沖縄振興一括交付金(仮称)の創設、過重な米軍基地の負担軽減などを国に求め、本県の地域的特性に配慮した政策の実現が可能となるような体制整備に努めてまいります。

本県を取り巻く環境は依然として厳しい現状にあります。他方で、高い出生率や人口の増加、魅力あふれる自然や文化の独自性と発信力、成長著しい東アジアの中心に位置するという地理的特性など、今後の発展に向け大きなポテンシャルも有しております。

私は、沖縄の課題解決に誠心誠意取り組みますとともに、未来を担う子や孫たちが夢と誇りを持てる沖縄を創っていくため、県民の皆様と心を一つにして、県政運営に全力を尽くす決意であります。

以上、2期目の県政運営にあたっての基本的な考え方を申し述べましたが、ここに改めて、議員各位並びに県民の皆様の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

平成22年12月10日

沖縄県知事 仲井眞 弘多